

市民の生活基盤を 下から支える

建設工事は第一に「地盤を知る」ことから始まります。

急勾配な法面下に道路・トンネルが通っている場合、落石や地すべり、降雨による土砂崩れ等の危険性があるため、事前に調査する必要があります。

地盤調査は、建設工事の根幹を成すものであり、安全で快適なインフラを整備・維持するためにも必要な調査と言えます。

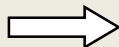
基本となる地質調査事例

ボーリング調査

地面を円柱状に掘削し、試料(ボーリングコア)を採取。



採取



- ・コアを観察し、土層の種類等を把握
- ・コアを用いて室内土質試験も可能

ボーリング孔を利用して原位置試験を実施(強度、透水性等を測定)。

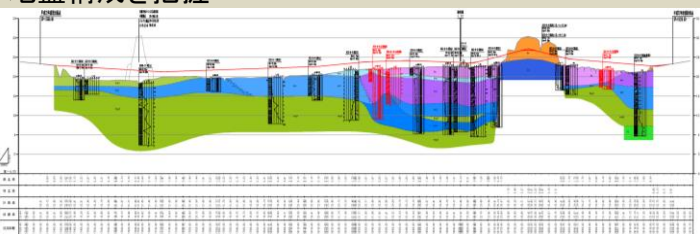


現場透水試験



標準貫入試験

ボーリング及び原位置試験結果から地盤構成を把握



地表踏査

地形や地表部に露出する地層を観察し、その分布状況を把握。



法面の落石・クラック確認



地表に露出した地層

落石や転石・岩盤の亀裂を確認し、対策工を検討



巨礫の分布把握



低角流れ目亀裂の評価

UAVや360度カメラを用いて作業効率の向上を図る

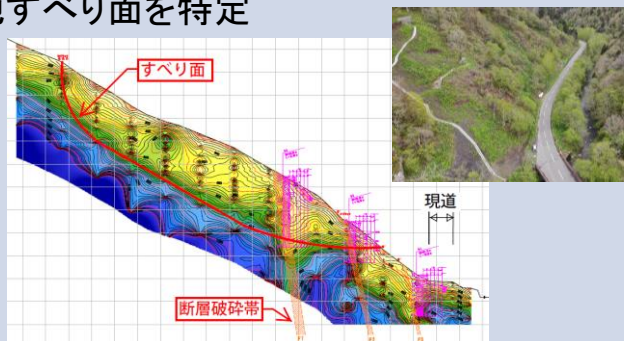


上空からの遠景撮影や立ち入りが困難な場所での撮影が可能

当部門では、各種建設工事における地質・土質調査の計画立案及び実施を手掛けています。また、土砂災害をはじめとした、各種災害の防止に向けて調査・解析、対策工設計などに取組み、災害に適応した知識・技術を提供します。

斜面災害

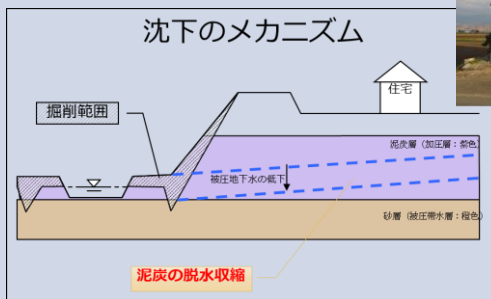
物理探査解析の適用により、断層破碎帯と地すべり面を特定



軟弱地盤・地下水解析

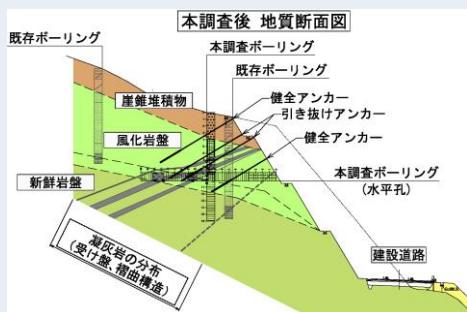
泥炭地盤の変状評価 (近傍家屋への影響)

工事により傾いた家屋



最大傾斜40/1,000
最大不同沈下36 cm

施工済み法面アンカーの不具合を解明 (凝灰岩への定着不足)

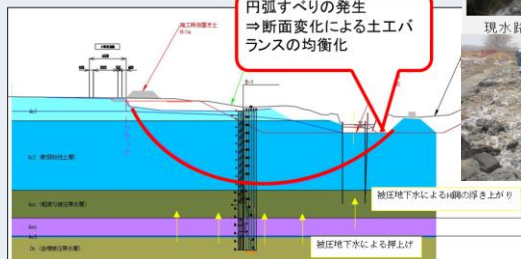


水路工事に発生した盤ぶくれ変状対応

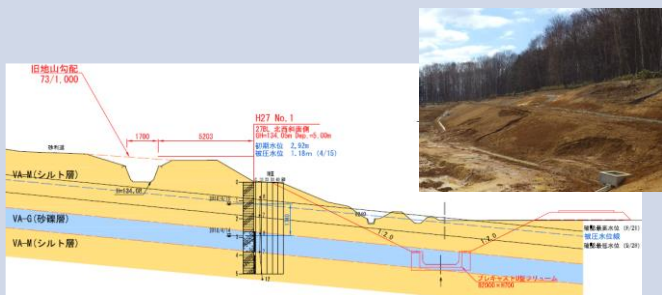
左岸頭部クラック



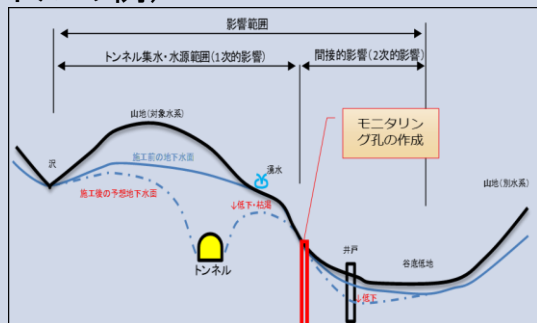
現水路部の盤ぶくれ・H鎖突出



ほ場法面(1:2.0)の変状対策(膨潤性粘土鉱物の特定と変状メカニズム)



水枯渇事前防止調査の実施 (トンネルの例)



パブリックコンサルタント株式会社

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第2道通ビル4F
TEL 代表 (011)222-3338 FAX(011)251-3176
URL <https://www.public-con.co.jp/>

詳しい会社情報は
ホームページをご覧ください

